

子どもとせ性。



健康相談室

35

福島医大ふくしま子ども・女性医療支援センター 特任教授

神保 正利氏



皆さまはサイトメガロ

ウイルスをご存じですか

? 風疹ウイルスやインフルエンザウイルスと違つてなじみが少ない上

に、妊娠中のサイトメガ

ロウイルスの初感染によ

つて胎児に影響が出ることについて認識してない

方が多いため、今回は

サイトメガロウイルス感

染と妊娠についてお話し

ます。

サイトメガロウイルス

は主に幼少期に感染し、

ほとんど症状がないまま

生涯にわたり潜伏感染し

ます（不顕性感染）。し

かし過去に感染せず、サ

イトメガロウイルスに対

妊娠の約30%がサイト

サイトメガロウイルス

サイトメガロウイルス 感染予防対策

*上の子どもや周りの乳幼児の育児に際して

- おむつ交換、食事の介助、鼻水やよだれをふいた後、遊んだおもちゃを触った後は石けんと水でしっかりと手を洗う。
- 食事の際に同じ箸やスプーンを使わない。口移しは行わない。
- キスをするときは唾液接触を避ける。

妊娠中の感染に注意

する抗体を持たない妊婦が初めてウイルスに感染すると、胎児に感染して出生児に低出生体重、肝脾腫、肝機能異常、小頭

のうち約40%が胎児感染メガロウイルスに対する抗体を保有しておらず、このうち1~2%が妊娠中に初感染を起こし、そ

のうち約40%が胎児感染メガロウイルスに対する抗体を保有しておらず、このうち1~2%が妊娠中に初感染を起こし、そ

のうち約40%が胎児感染メガロウイルスに対する抗体を保有しておらず、このうち1~2%が妊娠中に初感染を起こし、そ

た母児感染があります。

妊娠中は育児の際に上の子どもからの水平感染に注意が必要です。集団生活が始まつた乳幼児が保

た母児感染があります。

妊娠中は育児の際に上の子どもからの水平感染に注意が必要です。集団生活が始まつた乳幼児が保

ている母親がウイルスに感染した子どもの育児の際に感染する可能性があります。サイトメガロウイルス感染を予防するための対策について【別表】にお示します。

症、紫斑、血小板減少、黄疸（おうだん）、網膜症、けいれんなどをきたします。また、生まれた時に症状がなくても半年以上たつてから難聴、精神や身体の発達の遅れ、運動障害を起こすことがあります。

をきたすと考えられています。風疹やインフルエンザと違つてワクチンの実用化に至っていないこ

ともあり、妊娠したらサイトメガロウイルスに感染しないような対策が必要となります。

ふくしま子ども・女性医療支援センター

<http://www.fmu.ac.jp/home/fmccw/>